

## 学生のページ

〈研修先〉

### 中山整形外科クリニック

院長 中山治樹 先生 (昭和55年卒業)

〒612-8083 京都府京都市伏見区京町9-40

TEL 075-605-0180 FAX 075-605-0280

研修期間：平成22年8月2日、3日

うちしば まいみ  
内芝 舞実 (医学部第3学年)

「患者さんの痛みが分かるお医者さんになって下さいね」。

これは実習終了後、看護師さんに言われた言葉です。何気ない会話の中での一言だったのですが私の頭からは離れず、ジーンと胸に響きました。今後患者さんに接する立場の人間として、目指すべき目標であり、そうならなければならない、と強く思いました。

私がメディカルホームステイで実習をさせていただいた中山整形外科クリニックでは、患者さんに与える“痛み”を最小限にするために、一つ手の加わった治療がされていました。「膝に溜まった水を抜いてほしい」と来院される患者さんへの処置では、他院ではいきなり太い注射針を刺して行う治療も、局所麻酔を施してから行う。そのため、患者さんに与える痛みは少ない。院長自身の患者としての経験から、患者さんにはできる限り痛みを与えなくて済むように、と心がけているそうです。「もし自分が患者の立場だったら・・・と考え、痛い治療はできるだけしてほしくない。ならば、患者さんにも痛くないように処置をする」。考えてみれば当たり前のことのようにですが、他院ではあまり行われていないのが現実だそうです。実際に私自身、上記のような膝の治療を受けたことがあります。麻酔をされた記憶はありません。中山先生に診察してもらうため、他府県から来られる患者さんも多いと伺いました。これは、中山先生の“患者さんのため”を考えて行う診察・治療が評判となり、患者さんを引き寄せているのだろうと感じました。たった2日間の実習でしたが、中山先生が患者さんを診察する姿から、たくさんのことを学ばせていただきました。これは、どれだけ一生懸命教科書で勉強したとしても学べないことなので、今回実習をさせていただいたことは本当に意義あることだと感じています。また診察の合間には、患者さんに接する中で注意すべき点・診察のポイ



左から看護師さん2人、筆者、中山治樹院長

ントなどを教えていただきました。

「私の両親は医師ではないし、臨床の現場を一度くらい見学したいな」という軽い気持ちで、今回のメディカルホームステイに参加しました。しかし、実際に臨床現場に立つと、学ぶことがたくさんあり、何より、患者さんに接する医師としての姿を間近で勉強することができました。今はまだ3年生で、臨床科目の講義が始まったばかりです。しかし、今回このような経験をさせていただき、今後の勉強に対する姿勢が変わる気がします。今している勉強は、将来患者さんに接するようになった時の為の勉強であることを感じさせられました。一つひとつ知識を積み上げていくことはもちろんのこと、患者さんにとって良い医療が提供できる医師になれるよう、改めて頑張ろうと心に誓いました。

中山先生をはじめ、中山整形外科クリニックの皆様、本当にありがとうございました。